

## 特定非営利活動法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン

### 設 立 趣 旨 書

2001年10月に介護する人へのサポートの必要性を新聞等のメディアを通し、社会的に呼びかけ、介護者サポートネットワークセンター・アラジンが結成されました。

介護する人へのサポートとは、介護する家族や、介護に携わるケアワーカーやヘルパー等の人々へのサポートを含み、広く「ケアする人へのケア」を提言するものです。

今日、介護をとりまく社会的な状況は、大きく変化しています。特に高齢者や障害者の福祉・医療・介護に関わる分野においては、制度的な施策としては、さまざまなものが施行されつつあります。しかしながら、高齢者や障害者を共に支えていく、家族、介護に携わる人々へのサポート・施策は不十分であると言わざるをえません。

近年、「介護の社会化」が取り上げられ、介護の問題が徐々に社会的な問題として認識され、推進されつつあります。しかし、介護の問題は身近なところでは、未だに女性の問題であり老老介護の問題であり経済的な問題です。

介護を取り巻く社会的状況を鑑み、その矛盾や困難を少しでも改善するためにさまざまな分野の専門家・研究者・活動家等の方々と相互に協力をし合いながら、広く社会にうったえ、本NPOのミッションである「介護者及び介護家族に対して、介護を取り巻く現状の理解を深め、介護者及び介護家族への具体的支援の方法を研究・開発または支援に関する事業を行い、介護者及び介護家族が安心して暮らせる社会の実現」に向けて前進します。

本NPOの主体は、介護の問題に関心がある市民による活動です。さまざまな専門家等の協力をいただきながら、参加する会員一人ひとりが活動の担い手として、一市民としての感性を発揮しながら、活動を推進していくべく、発展させたいと願っております。

以上のような理由から今後の活動をより社会的に意義のあるもの、公益性の高いものにしていく必要性を強く感じ、ここに特定非営利活動法人の法人格を取得することと致しました。

平成15年9月23日